

事業所名 ひみつきち

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

20 日

法人（事業所）理念		私たちに関わる全ての人の健康と幸せを守ります。									
支援方針		「あなたらしく」「たくましいところとからだ」を目標に、生活能力の向上、家庭、学校以外での交流を図ります。関係法令を遵守し関係各所と連携を図りながら適切な支援を行います。									
営業時間		平日	9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで		あり	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康的な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。定期的な心身状態の把握、身の回りの清潔、食事所作、排泄動作衣類の着脱など生活の基本動作・技術の支援をする。排泄の支援が必要な児童に対しては、定時誘導など児童に合わせた流れを構築する。事業所の利用を通じて、本人及び家庭での生活リズムの安定と、楽しみにつながるように支援する。									
	運動・感覚	事業所の環境を活かした支援を提供する。事業所での経験を通じて児童の心身機能の発達を促す。サーキットトレーニングや、指先トレーニング、ビジョントレーニング、「トレキング」を使用した発達性協調運動プログラム通じて、姿勢と運動・動作の基本技術の向上につながるように支援する。									
	認知・行動	集団生活のルールや理解、場面に応じて自分で考えて行動できる機会を提供する。本人のペースに合わせて「個別活動」「集団活動」「創作活動」を友達との関係の中で学習できる環境を整える。視覚・聴覚・触覚を十分に活用し、必要な情報を収集できるように認知機能の発達を促す。タイムテーブルの確認・理解を繰り返し学習する。									
	言語 コミュニケーション	自己発信の手段や表現方法など場面に合わせたコミュニケーションの手段を本人の特性に合わせ支援する。話し言葉、文字、記号、絵カード、タブレットなどを利用し相手の意図を理解する、自分の意図を伝える訓練を行う。話し言葉や各種文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 始まりの会と終わりの会で今日の気分や活動内容を言語化し、言語の受容と表出する支援を行う。									
	人間関係 社会性	レクリエーションやグループワークを通じて自己発信だけではなく、他者の受容と協調性を養う機会を提供する。人との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築く。周囲に無関心な一人遊びの状態から、並行遊びを行い、大人が介入した連合的な遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びと段階を踏んで徐々に社会性の発達を支援する。									
家族支援		日常生活を通じて本人の意思を大切にしながら、親子でやり取りをする場面を増やし、子どもの発達状況や特性の理解にむけ相談援助を行う。 本人、家族の生活へのイメージを尊重し、実現に向けて必要なサービス、居場所、生活能力の向上に向けた支援を行う。 子育てや、障害に関する情報提供も行う。					移行支援		ライフステージの変わり目において、本人及び家族に必要な相談、助言を行う。関係機関と情報共有や支援内容のすり合わせを行う。		
地域支援・地域連携		学校等関係機関との情報交換、共有の機会をもうけ本人及びその家族を包括的に見守る。					職員の質の向上		定期的なケース会議、事業所内研修、全体研修以外にも、日々の支援において、意見交換する時間をもうけ柔軟な考え方などの実践に行けセルスキルをみがく。		
主な行事等		初詣、地域への参加、外出企画、夏祭り、ハロウィーン、クリスマス会									